

カリキュラムマップ (カリキュラムとディプロマ・ポリシーとの対応関係一覧表)

大妻女子大学
令和8年度用

<学部・学科・専攻名>

学部名	人間共生学部
学科名	社会学科
専攻名	

各DPと授業の到達目標との関係
◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			<知識・技能> 1. 時代や場所によって異なる社会現象の複雑さに気づき、社会で生きる人々の生のさまざまなあり方を当事者の立場にたつて理解することができる。 2. 社会学の専門知識・技術を基盤に、学術的エビデンスを活用して社会問題の実情・背景について理解することができる。	<思考力・判断力・表現力等> 1. 卒業後の人生におけるさまざまな場面において、そこで出会うさまざまな人々と共生・協働し、目の前で起きていることから社会問題までを解決していくための論理的思考枠組、学術的エビデンスにもとづく解決方法、それを実践するための自己決定力と行動力を身につけている。 2. 社会で生きる人々の生のさまざまなあり方を受け止めて考える能力、人々や社会をよりよいものにするべく適切な判断を行う力、および自分と立場の異なるさまざまな人と建設的なコミュニケーションを行う能力を身につけている。	<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度> 1. 階層やライフスタイルなど、各種の社会的属性が異なる人々とかかわりながら、互いに分断や排除に至ることなく共に生きていくことができるよう、社会や組織の中で自らの役割を果たすことができる。
社会調査講義 I	2	1	○	◎	
社会調査講義 II	2	1	○	◎	
社会学基礎セミナー I	2	1		◎	○
社会学基礎セミナー II	2	1		◎	○
社会調査及び演習 I	2	2	◎	○	
社会調査及び演習 II	2	2	◎	○	
現代社会論セミナー I	2	2		◎	○
現代社会論セミナー II	2	2	○	◎	○
社会学セミナー I	2	3	○	◎	○
社会学セミナー II	2	3	○	◎	○
社会学セミナー III	2	4	○	◎	○
社会学セミナー IV	2	4	○	◎	○
卒業論文	6	4	○	◎	◎
ジェンダーとダイバーシティ特論 I	2	3	◎	○	○
ジェンダーとダイバーシティ特論 II	2	3	◎	○	○
文化とメディア特論 I	2	3	◎	○	○
文化とメディア特論 II	2	3	◎	○	○
社会問題とインクルージョン特論 I	2	3	○	○	◎
社会問題とインクルージョン特論 II	2	3	○	○	◎
基礎統計学 I	2	1	◎		○
基礎統計学 II	2	1	◎		○
現代社会理論	2	234	◎		○
社会学史	2	234	◎		○
社会調査特論 I	2	3	◎	○	○
社会調査特論 II	2	3	◎	○	○
家族社会学	2	234	◎		○
ジェンダーの社会学	2	234	◎		○
ライフコース論	2	234	◎		○
ケアの社会学	2	234	◎		○
生と死の社会学	2	234	◎		○
メンタルヘルスの社会学	2	234	◎		○
恋愛と結婚の社会学	2	234	◎		○
男性学	2	234	◎		○
セクシュアリティの社会学	2	234	◎		○
映像と表象	2	234	◎	○	
現代メディア論	2	234	◎	○	

カリキュラムマップ (カリキュラムとディプロマ・ポリシーとの対応関係一覧表)

大妻女子大学
令和8年度用

<学部・学科・専攻名>

学部名	人間共生学部
学科名	社会学科
専攻名	

各DPと授業の到達目標との関係
◎：特に関係する ○：関係する

科目名	単位	配当年次	各DPと授業の到達目標との関係		
			DP 1	DP 2	DP 3
			<知識・技能> 1. 時代や場所によって異なる社会現象の複雑さに気づき、社会で生きる人々の生のさまざまなあり方を当事者の立場にたって理解することができる。 2. 社会学の専門知識・技術を基盤に、学術的エビデンスを活用して社会問題の実情・背景について理解することができる。	<思考力・判断力・表現力等> 1. 卒業後の人生におけるさまざまな場面において、そこで出会うさまざまな人々と共生・協働し、目の前で起きていることから社会問題までを解決していくための論理的思考枠組、学術的エビデンスにもとづく解決方法、それを実践するための自己決定力と行動力を身につけている。 2. 社会で生きる人々の生のさまざまなあり方を受け止めて考える能力、人々や社会をよりよいものにするべく適切な判断を行う力、および自分と立場の異なるさまざまな人と建設的なコミュニケーションを行う能力を身につけている。	<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度> 1. 階層やライフスタイルなど、各種の社会的属性が異なる人々とかかわりながら、互いに分断や排除に至ることなく共に生きていくことができるよう、社会や組織の中で自らの役割を果たすことができる。
現代における宗教	2	234	◎	○	
サブカルチャーの社会学	2	234	◎	○	
身体とファッションの社会学	2	234	◎	○	
情報社会論	2	234	◎	○	
文化人類学	2	234	◎	○	
若者の社会学	2	234	◎	○	
観光社会学	2	234	○		◎
都市の社会学	2	234	○		◎
医療と文化	2	234	○		◎
環境とコミュニティ	2	234	○		◎
現代における労働	2	234	○		◎
子どもと教育の社会学	2	234	○		◎
ボランティアの社会学	2	234	○		◎
格差と不平等の社会学	2	234	○		◎
差別とマイノリティ	2	234	○		◎
ビジネス英語	2	234		◎	○
英語コミュニケーション	2	234		◎	○
Malaysian Cultural Camp I	2	1234		◎	○
Malaysian Cultural Camp II	4	1234		◎	○
異文化理解 I	2	1234		◎	○
異文化理解 II	2	1234		◎	○